

## 目次

まえがき-----	i
目次-----	vii
図表一覧-----	xi
第1章 序論-----	1
はじめに-----	2
第1節 アスリートの競技引退を課題とした先行研究の概観---	4
1 理論研究の展開-----	4
1) 社会老年学理論の展開-----	5
2) 死亡学理論の展開-----	9
3) 成人移行論の展開-----	11
2 実証研究の展開-----	15
1) 研究対象の拡大-----	15
2) 研究課題の変遷-----	19
競技引退に関連する問題の把握-----	19
引退後の適応を規定する要因の同定---	21
具体的な介入方略の探求-----	22
第2節 アイデンティティ再体制化を捉えることの意義-----	27
1 人生を捉えることのできる理論モデル-----	27
1) エリクソンの「アイデンティティ発達」-----	29
2) レヴィンソンの「生活構造の発展」-----	34
3) 岡本の「アイデンティティ再体制化」-----	38
2 アイデンティティ再体制化を捉えることの有効性---	43
1) 競技引退に関連した問題と	
アイデンティティ再体制化---	44
2) ライフストーリー法の有効性-----	48
第3節 諸外国にみられる専門的介入プログラム-----	54
第4節 本章のまとめ-----	58
第2章 本研究の目的 及び 限界-----	61
第1節 本研究の目的-----	62
第2節 本研究の限界-----	65
第3節 本研究で使用する用語の説明-----	66

第3章	キャリア移行に関する問題	71
第1節	目 的	72
第2節	方 法	73
1	対 象	73
2	調査内容	73
第3節	結果と考察	75
1	キャリア移行の実態	75
1)	キャリア移行の推移	75
2)	移籍の実態	75
3)	引退の実態	77
4)	現役プロサッカー選手の移籍体験	79
5)	移籍のイメージ	81
6)	移籍に伴う問題	83
第4節	キャリア移行を体験したアスリートの事例	88
1	事例提示	88
1)	身の振り方を考えている元Jリーガー	88
2)	大学院に再入学した元Jリーガー	93
3)	アルバイトで生計を立てる元Jリーガー	96
2	討 議	101
第5節	本章のまとめ	103
第4章	引退期の問題と引退後の再適応様態	105
第1節	目 的	106
第2節	方 法	107
1	対 象	107
2	調査内容	107
3	評定基準	108
4	アイデンティティ再形成地位の類型化	111
第3節	結果と考察	114
1	対象者の属性と全体的な傾向	114
2	引退期に関連した問題の把握	117
3	アイデンティティ再形成地位の特徴	124
第4節	本章のまとめ	129
第5章	引退後の再適応に影響する要因の検討	132
第1節	目 的	133
第2節	方 法	134

1	対 象	134
2	調査手続	134
3	調査内容	135
	1) 引退後の適応に影響する要因	135
	2) 仮説的分析モデル	137
	3) インタビュー内容	137
第3節	結 果	140
1	事例提示の仕方	140
2	事例提示	140
	1) 事例D	140
	2) 事例E	144
	3) 事例F	149
	4) 事例G	156
	5) 事例H	159
	6) 事例I	164
	7) 事例J	170
	8) 事例K	174
第4節	考 察	181
1	アイデンティティ再形成地位の分類	181
2	各地位間の差異の検討	182
第5節	本章のまとめ	187
第6章	引退に伴うアイデンティティ再体制化のプロセス	189
第1節	目的と方法	190
1	目 的	190
2	方 法	190
3	事例提示の仕方	191
第2節	中年期に現役復帰を果たした元オリンピック選手	192
1	事例提示	192
2	討 議	200
第3節	中年期に再就職を余儀なくされた元オリンピック選手	203
1	事例提示	203
2	討 議	211
第4節	総合的考察	213
1	引退に伴うアイデンティティ再体制化のプロセス	213
2	社会化予期と時間的展望について	215
3	競技引退が中年期危機に与えた影響	217

第5節 本章のまとめ-----	219
第7章 総括-----	221
第1節 本研究のまとめ-----	222
第2節 今後の課題と研究展望-----	225
第3節 心理的援助への提言-----	228
引用文献-----	231
資料-----	244
研究成果の報告状況-----	xii
あとがき-----	xiii

## 図表一覧

## 図 一 覧

図 1-1：引退の全体的な流れ-----	14
図 1-2：LDIモデル-----	24
図 1-3：アイデンティティの発達図式と青年期の位置づけ-----	31
図 1-4：アイデンティティ発達の連続パターン-----	35
図 1-5：男性のライフサイクル-----	36
図 1-6：人の一生とその過程で生じる一般的出来事-----	38
図 1-7：アイデンティティのラセン式発達モデル-----	40
図 2-1：本研究のフローチャート-----	63
図 3-1：4シーズンにおけるキャリア移行の推移-----	76
図 3-2：調査対象者の移籍体験-----	82
図 3-3：移籍体験群別の移籍のイメージ-----	84
図 3-4：移籍体験者における引退後の不安-----	85
図 3-5：移籍体験者における引退後の展望-----	87
図 4-1：引退のきっかけ-----	119
図 4-2：引退後の不安-----	121
図 4-3：引退後の準備-----	123
図 5-1：仮説的分析モデル-----	138
図 6-1：事例Lのライフライン-----	193
図 6-2：事例Lのアイデンティティ再体制化とその内容-----	202
図 6-3：事例Mのライフライン-----	204
図 6-4：事例Mのアイデンティティ再体制化とその内容-----	212

## 表 一 覧

表 1-1：理論研究において援用された理論の概要-----	6
表 1-2：競技引退に関連する代表的な実証研究-----	16-17
表 1-3：アイデンティティ・ステータス-----	33
表 1-4：中年期のアイデンティティ再体制化のプロセス-----	42
表 1-5：諸外国のキャリア援助プログラムの目的と内容-----	55
表 3-1：移籍の実態-----	78
表 3-2：引退の実態-----	79
表 4-1：アイデンティティ再形成地位とその概略-----	112
表 4-2：アイデンティティ再形成地位と引退過程のイメージ-----	125
表 5-1：各事例の主要なエッセンス-----	183
表 6-1：競技引退に伴うアイデンティティ再体制化の過程-----	214